

## 4-5 宗教学

### 研究・教育活動の概要と特色

大正13年(1924)7月に宗教学講座として開設された宗教学専攻分野の現代の特色は、昭和13年(1938)に就任した二代教授の石津照璽によりその方向付けがなされたものと言える。それは人間存在の基礎的場面における宗教性や宗教の根拠の追究を、哲学的・思想的な人文科学的宗教研究と、フィールドワークに基づく社会学的・人類学的・民俗学的な社会科学的宗教研究との統合の中に志向するところにあった。宗教現象を単に“個”の内面の問題としてだけ捉えるのではなく、また“群”としての集団の問題としてだけ捉えるのではなく、その両側面に目を配りながら包括することを志向する研究視角は、その後の伝統として本専攻分野の教育システムの中に取り入れられており、ここから巣立った研究者の中にそれぞれの個性を活かした形に花開いている。

研究生・聴講生を含め、本講座にこれまで在籍した学生・院生の総数は2015年には500名を越えている。現在の学部定員は一学年10名であるが、近年は定員を上回る進学希望者が継続してあり、全員の希望に応じられない状態が続いている。大学院に関しては、本学からの進学者のみならず、国内外の大学・大学院を卒業・修了した日本人や海外からの留学生、社会人を経た編入学者など、実に多様なメンバーで構成されている。

### I 組織

#### 1 教員数(2015年5月20日現在)

教授：2

准教授：1

助教：1

教授：鈴木岩弓・木村敏明

准教授：山田仁史

助教：大村哲夫

#### 2 在学生数(2015年5月20日現在)

学部 (2年次以上)	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博士 後期	大学院 研究生
31	2	9	10	1

### 3 修了生・卒業生数（2010～2014年度）

年度	学部卒業生	大学院博士課程 前期修了者	大学院博士課程 後期修了者 (含満期退学者)
10	10	5	3
11	12	5	4
12	8	3	1
13	10	3	3
14	9	5	2
計	49	21	13

## II 過去5年間の組織としての研究・教育活動（2010～2014年度）

### 1 博士学位授与

#### 1-1 課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件数	論文博士授与件数	計
10	2	1	3
11	2	0	2
12	3	0	3
13	3	0	3
14	2	0	2
計	12	1	13

#### 1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

間宮啓壬、2010年度、「日蓮における宗教的自覚と救済—「こころみ」の宗教—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・佐藤弘夫、教授・戸島貴代志

大村哲夫、2010年度、「ホトケの救済に関する宗教心理学的研究—悟り・現世利益・終末期のヴィジョン—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・桜井宗信、准教授・木村敏明、准教授・山田仁史

佐藤慎太郎、2010年度、「近代の克服—エリアーデ宗教学の形成過程とその展開—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・後藤敏文、准教授・木村敏明、准教授・山田仁史

庄司一平、2011年度、「〈人間性の宗教〉という理念—近代米国思想におけるその形成史—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・戸島貴代志、准教授・木村敏明  
小田島建己、2011 年度、「《死者の結婚》を表す絵馬や人形—視覚化された「冥福」と人々の信仰—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・佐藤弘夫、准教授・木村敏明  
阿部友紀、2012 年度、「龍澤山善宝寺における現世利益信仰—信者の祈願と寺院の生存戦略—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・桜井宗信、准教授・木村敏明、准教授・山田仁史  
相澤里沙、2012 年度、「越境する学知—インドネシアにおける『宗教』の形成とオランダ民族学」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・沼崎一郎、教授・弘末雅士（立教大学）、准教授・木村敏明、准教授・山田仁史  
澤井治郎、2013 年度、「現代アメリカにおける宗教思想の研究——パウル・ティリッヒとラインホルド・ニーバーの宗教思想」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・戸島貴代志、准教授・木村敏明、准教授・山田仁史  
斎藤喬、2013 年度、「畏れからホラーへ—アンドレ・ド・ロルドの諸戯曲にみる恐怖の論理化—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・戸島貴代志、准教授・木村敏明、准教授・山田仁史  
黄緑萍、2013 年度、「宗教がどう生まれるのか —現代の「流行神」への試み—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・正村俊之、准教授・木村敏明、准教授・山田仁史  
栗田英彦、2014 年度、「信と行の近代 —岡田式静坐法にみる心身修養のゆくえ—」  
審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・木村敏明、教授・戸島貴代志、准教授・山田仁史、准教授・高橋 原

澤井真、2014 年度、「イスラーム神秘思想の源流—神名解釈としてのイスラーム思想史—」  
審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・木村敏明、教授・戸島貴代志、教授・鎌田繁（東京大学）、准教授・山田仁史

## 2 大学院生等による論文発表

### 2-1 論文数

年度	審査制学術誌 (学会誌等)	非審査制誌 (紀要等)	論文集 (単行本)	その他	計
10	9	10	1	6	26
11	11	8	1	4	24
12	5	5	1	3	14
13	4	10	1	3	18
14	12	9	0	6	27
15	1	0	4	0	5
計	42	42	8	22	114

\* 2015年度は5月20日までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

## 2-2 口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
10	4	26	3	3	36
11	1	17	4	1	23
12	3	26	9	3	41
13	3	21	14	4	42
14	3	29	13	4	49
15	0	0	3	0	3
計	14	119	46	15	194

\* 2015年度は5月20日までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

## 2-3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

### (1) 論文

相澤里沙「宗教におけるトリックスターの役割—G・J・ヘルトにみる—」『論集』

第38号、印度学宗教学会、2011年3月

阿部友紀「五来重の庶民信仰論」『論集』第41号、印度学宗教学会、2014年3月

アリマンシャル「ケガレ論再考—竹駒神社にみる祓い清め—」『東北民俗』第47

輯、東北民俗の会、2013年6月

王立雪「中世説話における蛇観念」『東北宗教学』第6号、東北大学宗教学研究室、

2011年12月

大村哲夫「死者が卒業するということ—東日本大震災における慰霊と癒し—」『文

化』77、東北大学文学会、2013年、9月

小田島建己「山形県置賜地方における葬送墓制習俗の変化—高島町時沢の追跡調

- 査から一」『国立歴史民俗博物館研究報告』 第 191 集、国立歴史民俗博物館、2015 年 2 月
- 栗田英彦「真宗僧侶と岡田式静坐法」、『近代仏教』第 21 号、日本近代仏教史研究会、2014 年 5 月
- 黄緑萍「『筆仙』とは何か：中国の流行現象に注目して、『東北宗教学』第 10 号、東北大学宗教学研究室、pp.19-37、2014 年 12 月
- 小林輝之「戦没者追悼の現在—宮城県塩竈市浦戸桂島地区の場合—」『東北文化研究室紀要』第 51 集、東北大学大学院文学研究科、2010 年 3 月
- 斎藤喬「クリステヴァにおける唾棄すべきものの宗教性」『文化』第 74 巻 3・4 号、東北大学文学会、2011 年 3 月
- 澤井治郎「ラインホルド・ニーバーとパウル・ティリッヒにおける宗教理解の枠組み」『論集』第 38 号、印度学宗教学会、2011 年 12 月
- 澤井真「ジュナイドの『原初の契約』におけるファナーとバカー」『オリエント』第 54 巻 2 号、社団法人日本オリエント学会、2011 年
- 陳宗炫「韓国の天理教における入信の過程とその分析—おもに月刊機関誌の記事を中心として—」『東北宗教学』第 8・9 号、東北大学宗教学研究室、2013 年 12 月。
- 高棹健太「新宗教教団による巫者要請とその解釈」『東北宗教学』第 8・9 合併号、東北大学宗教学研究室、2013 年 12 月
- 陳甜「「吉田寺」におけるポックリ信仰の展開」『論集』41、印度学宗教学会、2014 年 12 月
- 陳宣聿「台湾における嬰霊慰霊について」『東北宗教学』第 10 号、東北大学宗教学研究室、2014 年 12 月
- 千葉暁子「山伏神楽における演目の成立と展開—岩手県の事例を中心として—」『東北民俗』第 46 号、東北民俗の会、2012 年 6 月
- 土佐美菜実「『伝統』の継承と法典化を目指して—ネイティブ人類学者 B. サンディにおけるアダット—」『文化』第 75 巻第 1・2 号、東北大学文学会、2011 年 9 月
- 森田敬史「ビハーラ病棟での実践からみえてくる仏教者の役割」『日本仏教社会福祉学会年報』41 号、日本仏教社会福祉学会、2010 年 11 月
- 芳野貴典「戊辰戦死者慰霊の成立と展開—平安会の事例より—」『東北宗教学』第 8・9 号、東北大学宗教学研究室、2013 年 12 月

## (2) 口頭発表

AIZAWA, Risa, "The Concept of Religion in First Generation Anthropologists in Indonesia," New England Association for Asian Studies Conference, October, 22, 2011, Wellesley College.

阿部友紀「神仏の名と呪力—民間信仰にみるお札の機能—」第56回印度学宗教学会（種智院大学）、2014年5月31日

アリマンシャル「ケガレからハレへ—竹駒神社の初午大祭を事例に—」第55回印度学宗教学会学術大会、駒沢女子大学、2013年6月2日

王立雪「古代日本における蛇観念—『古事記』『日本書紀』『風土記』を通して—」印度学宗教学会第54回学術大会、東北福祉大学、2012年6月2日

大蔵徳幸「現代の弥治郎集落にみる木地屋のアイデンティティ—」印度学宗教学会第53回学術大会、大阪国際大学、2010年5月30日

大村哲夫「高齢社会における「宗教性」—自他の死を穏やかに受けとめる文化的受容としての意味と継承—」大会企画シンポジウムⅡ『高齢社会における宗教の意義と問題』日本老年社会科学会第56回大会 岐阜県下呂市 2014年6月

小田島建己「近代の葬墓への政府の関わり」『日本学術振興会二国間交流事業オープンパートナーシップ・セミナー「介護と看取りに根ざす新たな思想史・文化史研究の構築」』（北京）、2013年11月

工藤さくら「信仰実践にみる親族の位置—Gellner, D. N. の理論をめぐって—」印度学宗教学会第55回学術大会、駒沢女子大学、2013年6月2日

栗田英彦 "The Historical Conditions of the Japanese Mind-cure Movement in the Early 20th Century", The 17th Asian Studies Conference Japan (J. F. Oberlin University), 29-30, June, 2013

黄緑萍「流行と巡り—『奥州仙臺七福神』の成立と展開—」印度学宗教学会第55回学術大会、駒沢女子大学、2013年6月2日

斎藤喬「ジョルジュ・バタイユにおける異質なものと唾棄すべきもの」印度学宗教学会第56回学術大会、種智院大学、2014年6月1日

佐藤慎太郎「エリアーデ宗教学形成期におけるナエ・イヨネスクの影響」日本宗教学会、東洋大学、2010年9月5日

澤井真「イスラームにおける神名論—タンヌーラからイスラーム哲学まで—」、日本学術振興会カイロ研究連絡センター定例懇話会（2013年度第3回）、日本学術振興会カイロ研究連絡センター、2014年1月30日

SAWAI, Jiro, "The "Dimension of Depth" in Reinhold Niebuhr and Paul Tillich," XXth

World Congress of the International Association for the History of Religions,  
University of Toronto, August 19, 2010

SAWAI, Makoto, “Toshihiko Izutsu’s Weltanschauung (Worldview) of the Qur’an,”

Intellectual Youth Club of the International Islamic University Malaysia, Malaysia:

The International Islamic University Malaysia, 2012年5月12日.

陳宗炫「韓国人信者にみる日系新宗教の受容—天理教韓国教団を中心に—」、日本宗  
教学会第73回学術大会、同志社大学、2014年9月

鈴木文子「ブルターニュの『神』と『悪魔』」第849回2009年度民俗学関係修士  
論文発表会、成城大学、2010年5月9日

高棹健太「『巫女』と水子—大和教団の教勢展開—」日本宗教学会第73回学術大会、  
同志社大学、2014年9月13日

千葉暁子「山伏神楽における「神降ろし」と「神送り」の成立—岩手県の事例か  
ら—」印度学宗教学会第54回学術大会、東北福祉大学、2012年6月2日

陳宣聿「女性週刊誌の言説にみる〈水子〉のイメージ」印度学宗教学会第56回学  
術大会、種智院大学、2014年5月31日

陳甜「『恍惚の人』からみるポックリ信仰流行の背景」印度学宗教学会第56回学  
術大会、種智院大学、2014年6月1日

東迅「『丑の刻参り』研究の現状と課題」印度学宗教学会第54回学術大会、東北  
福祉大学、2012年6月2日

土佐美菜実「英国植民地期サラワクにおけるアダットの成文化」日本宗教学会第  
71回学術大会、皇學館大学、2012年9月9日

森田敬史「事後インタビューからみる「臨床宗教師」研修の効果」日本宗教学会、國  
學院大學、2013年9月8日

森田未咲「インドの月神話からみる世界観」印度学宗教学会第53回学術大会、大  
阪国際大学、2010年5月

門間全「仙台藩における陰陽道思想—名取春仲を中心に—」第54回印度学宗教学  
会学術大会、東北福祉大学、2012年6月2日

芳野貴典「慰霊の構造—戊辰戦死者と旧藩意識—」印度学宗教学会第56回学術大  
会、種智院大学、2014年5月31日

### 3 大学院生・学部生等の受賞状況

東北開発記念財団海外派遣援助、相澤里沙「インドネシア第一世代人類学者に  
おける「宗教」概念の成立に関する研究」、18万円、2010年

大畠記念宗教史学研究助成基金、相澤里沙「インドネシア第一世代人類学者における「宗教」概念の形成と展開」、35万円、2010年

松下幸之助記念財団研究助成、相澤里沙「オランダ民族学における宗教をめぐる学知の形成—インドネシアの「アニミズム」と「アダット」—」、50万円、2010年

科学研究費補助金（特別研究費）、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、80万円、2010年

国際高等研究院「博士研究教育院生」、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、63万円、2010年

東北開発記念財団海外派遣援助、澤井治郎、「アメリカにおけるキリスト教神学者による宗教思想とその社会的・政治的影響力」、25万円、2010年

科学研究費補助金（特別研究費）、澤井真、「イスラーム神秘主義の思想と信仰に関する宗教学的的研究」、50万円、2010年

科学研究費補助金（特別研究費）、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、80万円、2011年

国際高等研究院「博士研究教育院生」、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、63万円、2011年

Harvard-Yenching Institute (Visiting Fellow), Hidehiko KURITA, “The Formation and Development of Okada Torajirō’s Method of Still-Sitting: The Relationship between Spiritual Ideas and Bodily Techniques in Modern Japan,” 21,249USD, 2011.

科学研究費補助金（特別研究員奨励費）、澤井治郎、「現代アメリカにおける宗教思想と政治」、40万円、2011年度

大畠記念宗教史学研究助成基金、澤井真、「クルアーン解釈の思想史的展開—『原初の契約』を中心に—」、35万円、2011年

斉藤稜兒イスラム研究助成基金、澤井真、「クルアーンの解釈学的パースペクティヴに関する思想史的研究」、50万円、2011-12年

東北開発記念財団海外派遣援助金、澤井真、「イスラームにおける神と人間」、22万円、2011年

科学研究費補助金（特別研究員奨励費）、澤井治郎、「現代アメリカにおける宗教思想と政治」、40万円、2012年度。

科学研究費補助金 基盤研究（C）、大村哲夫、「東日本大震災後の宗教者—被災者関係の変化と超宗派ボランティア「心の相談室」」、325万円、2012-2014年度



経団連国際教育協力財団 2013 年度日本人大学院奨学生、工藤さくら、「ネパール都市農民カーストの神仏の形成（ネパール語）」、350 万円／年、2013-14 年

科学研究費補助金（特別研究員奨励費）、陳宗炫、「韓国における日系新宗教受容に関する宗教社会学的研究—天理教を事例として—」、90 万円、2014 年度。

科学研究費補助金（特別研究員奨励費）、高棹健太、「民俗宗教と新宗教の相剋—大和教団の教勢展開—」、100 万円、2014 年度

科学研究費補助金（特別研究員奨励費）、高棹健太、「民俗宗教と新宗教の相剋—大和教団の教勢展開—」、80 万円、2015 年度

科学研究費補助金（特別研究員奨励費）、陳宗炫、「韓国における日系新宗教受容に関する宗教社会学的研究—天理教を事例として—」、80 万円、2015 年度

#### 4 日本学術振興会研究員採択状況

2010 年度 外国人特別研究員 採用 1 人（本研究室生の他部局への採用）

2011 年度 DC2 受入 1 人（本研究室生の本研究室への採用・受入）  
DC1 受入 1 人（本研究室生の本研究室への採用・受入）  
DC1 採用 1 人（本研究室生の他大学への採用）

2012 年度 PD 採用 1 人（本研究室生の他大学への採用）  
外国人特別研究員 採用 1 人（海外大学から本研究室への採用・受入）  
DC1 採用 1 人（本研究室生の本研究室への採用・受入）

2013 年度 PD 採用 1 人（本研究室生の他大学への採用）  
外国人特別研究員 採用 1 人（海外大学から本研究室への採用・受入）

2014 年度 PD 採用 1 人（本研究室生の他大学への採用）  
DC1 採用 2 人（本研究室生の本研究室への採用・受入）

2015 年度 PD 採用 2 人（本研究室生の他大学への採用）

2015 年度 PD 受入 1 人（本研究室への他大学からの受入）  
採用 1 人（本研究室生の他大学への採用）  
海外 採用 1 人  
DC1 採用 2 人（本研究室生の本研究室への採用・受入）

#### 5 留学・留学生受け入れ

### 5-1 大学院生・学部学生等の留学数

2011年度、大学院、トリブヴァン大学、ネパール  
2011年度、大学院、マレーシア国際イスラーム大学、マレーシア  
2011年度、大学院、ハーヴァード大学イェンチン研究所、アメリカ合衆国  
2012年度、大学院、マレーシア国際イスラーム大学、マレーシア  
2012年度、大学院、ハーヴァード大学イェンチン研究所、アメリカ合衆国  
2013年度、大学院、アメリカン大学、エジプト  
2013年度、大学院、トリブヴァン大学、ネパール  
2014年度、大学院、アメリカン大学、エジプト  
2014年度、大学院、トリブヴァン大学、ネパール  
2015年度、大学院、トリブヴァン大学、ネパール

### 5-2 留学生の受け入れ状況（学部・大学院）

年度	学部	大学院	計
10	1	3	4
11	1	2	3
12	6	3	9
13	4	5	9
14	0	11	11
15	4	12	16
計	16	36	52

## 6 社会人大大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
10	0	0	0
11	0	2	2
12	0	1	1
13	1	1	2
14	1	1	2
15	0	1	1
計	2	6	8

## 7 専攻分野出身の研究者・高度職業人（2010～2014年度）

### 7-1 専攻分野出身の研究者

デール・アンドリュース：東北学院大学 准教授 2012年度～  
オリオン・クラウタウ：ハイデルベルグ大学 共同研究員 2013年度～2014年  
度  
オリオン・クラウタウ：東北大学 准教授 2015年度～  
庄司一平：東北大学 助教 2012年度～2014年度  
滝澤克彦：長崎大学 准教授 2014年度～  
澤井治郎：天理大学おやさと研究所 所員 2014年度～  
大村哲夫：東北大学 助教 2015年度～  
斉藤喬：南山大学宗教研究所 研究員 2015年度～

## 7-2 専攻分野出身の高度職業人

中高教員、アジア経済研究所司書、瑞鳳殿学芸員、『中外日報』記者 など

## 8 客員研究員の受け入れ状況（2010～2014年度）

国立北スマトラ大学教授 Hamzon SITUMORANG 2011年6月～9月

## 9 外国人研究者の受け入れ状況（2010～2014年度）

2010年	1人
2011年	1人
2012年	1人
2013年	1人
2014年	1人
2015年	2人

## 10 刊行物

『東北宗教学』2005年より毎年刊行

## 11 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

2010年

印度学宗教学会事務局

東北民俗の会事務局

日本民俗学会第62回年会実行委員会事務局

2011年

印度学宗教学会事務局  
東北民俗の会事務局  
「心の相談室」事務局

2012 年

印度学宗教学会事務局  
東北民俗の会事務局  
「心の相談室」事務局

2013 年

印度学宗教学会事務局  
東北民俗の会事務局  
「心の相談室」事務局

2014 年

印度学宗教学会事務局  
東北民俗の会事務局  
「心の相談室」事務局

2015 年

印度学宗教学会事務局  
東北民俗の会事務局  
「心の相談室」事務局

## 1 2 専攻分野主催の研究会等活動状況（2010～2014 年度）

### 【2010 年度】

第 87 回宗教学研究会：2010 年 4 月 23 日 東北大学

山形孝夫（宮城学院女子大学名誉教授）

「黒いマリアの謎—『見えない宗教』の人類学」

第 88 回宗教学研究会：2010 年 11 月 1 日 東北大学

林美容（台湾中央研究院教授）「魔神仔面面觀（モシナの諸相）」

第 89 回宗教学研究会：2010 年 12 月 10 日 東北大学

竹内泰（宮城大学准教授）

第 90 回宗教学研究会：2011 年 1 月 21 日 東北大学

松山茂（小国町教育委員会）「山形県小国町の信仰と民俗」

### 【2011 年度】

第 91 回宗教学研究会：2012 年 1 月 30 日 東北大学

出村みや子（東北学院大学教授）

「アレクサンドリアの多文化主義的状況と宗教」

【2012 年度】

第 92 回宗教学研究会：2012 年 11 月 13 日 東北大学

徳田幸雄（東北大学大学院国際文化研究科）

「回心—神と人との出会い—」

【2013 年度】

第 93 回宗教学研究会：2013 年 6 月 25 日 東北大学

斎藤喬（東北生活文化大学）

「死者の現前—黒沢清『降霊』にみるホラーの翻案—」

第 94 回宗教学研究会：2013 年 10 月 24 日 東北大学

田中雅一（京都大学）「アメリカ合衆国従軍牧師の世界」

第 95 回宗教学研究会：2013 年 12 月 17 日 東北大学

ティム・グラフ（ハイデルベルク大学）

「『東日本大震災と仏教』上映と解説」

【2014 年度】

第 96 回宗教学研究会：2014 年 4 月 22 日 東北大学

ケルスティン・ラマー（フライブルク福音主義単科大学）

「ドイツの病院と緩和ケア施設における魂のケアとスピリチュアルケア」

第 97 回宗教学研究会：2014 年 11 月 15 日 東北大学

小谷みどり（第一生命経済研究所主席研究員）

「終活ブームの背景にあるもの」

【2015 年度】

第 98 回宗教学研究会：2015 年 4 月 21 日 東北大学

福田雄（日本学術振興会 PD）

「災禍の儀礼の宗教社会学に向けて」

第 99 回宗教学研究会：2015 年 6 月 2 日 東北大学

小川英爾（角田山妙光寺住職）東北大学

「寺が直面する存亡の危機と妙光寺 25 年の試み」

### 13 組織としての研究・教育活動に関する過去 5 年間の自己点検と評価

現在の本研究室の教員スタッフは、教授 2・准教授 1・助教 1 の計 4 名で構成されている。教員組織拡充の背景には、在学生定員が学部大学院の全ての学年において充足し

ていることがある。この動向は7、8年前から始まったことで、全学教育における授業の充実化やインターネットによる大学院教育の紹介などが影響しているものと考えられる。

大学院における留学生受入も積極的に行っており、14年度においては、外国人留学生の割合が大学院生の過半数を占めるに至っている。また社会人大大学院生の受入も積極的に推進しており、これもまた常に在籍している。このような傾向はおよそ10年前からのことで、年齢・性別・国籍・宗教などはもちろん、卒業学部も多岐にわたる現在の研究室は、人間社会全体の縮図にも似たカオスの世界を現出しており、そのような多様性の中で過ごす研究生生活は、構成員相互に良い刺激をもたらしているものと考ええる。

組織としての研究・教育活動のうち、まず教育面については、複数の課程博士の授与が10年度以降毎年続いていることが挙げられる。後期課程の大学院学生は継続的に在籍しているが、フィールドワークやディシプリン横断的な研究において、実質2年半で博士論文を書き上げることは非常に困難であるため、留学や休学あるいは退学といった留年期間を経て学位取得に至る者も多い。博士課程の長期在籍には一長一短あるものの、着実な研究業績の蓄積が博士号取得へと通じる結果となっている。博士取得が就職の前提条件となっている現在の趨勢からすると、少なくともその第一段階はクリアできているものと思われる。

大学院生の業績に変化が見られるようになったのは、04年度に東京で開催されたIAHR（国際宗教学宗教史会議）の第19回世界大会がきっかけであった。この時には博士前期の一部を含む博士後期全員が英語もしくはフランス語で口頭発表するよう指導したが、これによりそれまで構成員の多くが持っていた言葉の“壁”の克服に大きな効果があった。以後、論文執筆にせよ口頭発表にせよ、自己の研究内容を他者に如何に伝えるかを意識するようになった。業績の内訳も、レフリー付きの雑誌への投稿、英語を用いた研究発表、隣接分野の学会および研究会への参加など、研究領域におけるグローバル化への対応準備が進んでいる。海外渡航者については、長期留学および三ヶ月未満の短期調査研究が毎年複数あり、学部学生の語学研修も見られる点は、今後の積極的指導によってさらに拡充すべきであると考ええる。

05年度以降、学振特別研究員のDC1に毎年新たな採用が見られたほか、PD、RPDを含め、毎年複数の学生が特別研究員として採用され在籍してきた。この点は、本研究室の大学院生の実力があるレベルを越えていることを示す証左と思われる。

### Ⅲ 教員の研究活動（2010～2014年度）

#### 1 教員による論文発表等

## 1-1 論文

- 鈴木岩弓「写真が語る現代人の絆」岩上真珠・鈴木岩弓・森謙二・渡辺秀樹共著『いま、この日本の家族一絆のゆくえ一』、弘文堂、pp.52-89、2010年
- 鈴木岩弓「家亡き時代の絆の形成——柳田國男における〈家の寿命〉」岩上真珠・鈴木岩弓・森謙二・渡辺秀樹共著『いま、この日本の家族一絆のゆくえ一』、弘文堂、pp.182-187、2010年
- 鈴木岩弓「与半跏趺坐地藏像有关的民間信仰」『民俗艺术学国际学术研讨会 会议论文集』pp.110-113、2011年
- 鈴木岩弓「東日本大震災にみる土葬の復活—“あり得べき”死者の姿—」『エジプト・日本学術シンポジウム死者の追悼と文明の岐路 2011年 予稿集』東京大学、pp.83-94、2011年
- 鈴木岩弓「展望 超宗派『心の相談室』」『週刊佛教タイムス』第2471号、1面、2012年
- 鈴木岩弓「東日本大震災の土葬選択にみる死者観念」座小田豊・尾崎彰宏編『今を生きる 1人間として』東北大学出版会、pp.103-121、2012年
- 鈴木岩弓「東日本大震災にみる土葬の復活—“あり得べき”死者の姿」大稔哲也、島藺進編『死者の追悼と文明の岐路 2011年のエジプトと日本』三元社、pp.94-106、2012年
- SUZUKI Iwayumi, Dealing with the Dead: The Reemergence of Earth Burials after the Great East Japan Earthquake Commemorating the Dead in a Time of Global Crisis Egypt and Japan in 2011 , Global COE Program DALs, pp.93-105, 2012年
- SUZUKI Iwayumi, Beyond Ancestor Worship: Continued Relationship with Significant Others Hikaru Suzuki ed. *Death and Dying in Contemporary Japan*, Routledge, pp.141-156, 2013年
- 鈴木岩弓「東日本大震災後の『絆』再興にみる宗教の“ちから”」『宗教研究』86-4、日本宗教学会、pp.22-26、2013年
- 鈴木岩弓、「いま宗教者に求められていることは何か」『寺門興隆』No.175、興山社、pp.58-65、2013年
- 鈴木岩弓「いまなぜ臨床宗教師の養成が必要なのか」『寺門興隆』No.176、興山社、pp.108-116、2013年
- 鈴木岩弓「東北地方の『骨葬』習俗」鈴木岩弓・田中則和編『講座東北の歴史 第六巻 生と死』清文堂、pp.249-274、2013年
- 鈴木岩弓「東日本大震災による被災死者の慰霊施設」村上興匡・西村明編『慰霊

- の系譜—死者を記憶する共同体』森話社, pp.211-231, 2013年
- 鈴木岩弓「山上霊地の死者供養—大光院のホトケヤマー」『東北民俗』第48輯, pp.49-56, 2014年
- 鈴木岩弓「死の認識の変遷—現代社会の死の文化—」国立歴史民俗博物館・山田慎也・鈴木岩弓編『変容する死の文化—現代東アジアの葬送と墓制—』, 東京大学出版会, pp.3-29, 2014年11月
- 鈴木岩弓「宗教とこころのケア—被災地から超高齢多死社会へ—」季刊『消防科学と情報』No.119、消防科学総合センター, pp.27-30, 2015年2月
- 鈴木岩弓「被災地における"祈りの場"の誕生—宮城県名取市閑上地区の日和山—」『現代宗教 2015』国際宗教研究所, pp.153-177, 2015年3月
- 鈴木岩弓「警報音から始まったソーシャル・ムーブメント」『死の臨床』第37巻, 日本死の臨床研究会, pp.28-9, 2015年3月
- 鈴木岩弓「震災被災地における怪異の場」『口承文芸研究』第38号, 日本口承文芸学会, pp.28-41, 2015年3月
- 木村敏明「地震と神の啓示—西スマトラ地震をめぐる語りから」『東北宗教学』vol.5, 2010年
- 木村敏明「震災と向き合う宗教—東日本大震災以降の動向」、渡辺直樹編『宗教と現代がわかる本 2012』平凡社, pp. 26-35, 2012年
- 木村敏明「日本人と震災と宗教」、座小田豊・尾崎彰宏編『今を生きる—東日本大震災から明日へ復興と再生への提言—1. 人間として』東北大学出版会, pp. 123-134, 2012年
- 木村敏明「震災死者と宗教—インドネシア・スマトラにおける集団埋葬の事例から」、国際宗教研究所編『現代宗教 2012』秋山書店, pp. 158-173, 2012年
- KIMURA Toshiaki, *Social Change and Transformation in Toba Batak Ethnic Associations in Medan, Sumatra Stratification in Cultural Context –Cases from East and Southeast Asia*, Trans Pacific Press, PP113-126, 2013
- 木村敏明「多民族国家の不平等—インドネシアにおける格差問題」『不平等生成メカニズムの解明—格差・階層・公正—』ミネルヴァ書房, pp. 35-52, 2013年。
- 木村敏明「二年遅れで復活した二十年周期の祭礼から見えてくる現実—東松島市浜市お潮垢離行事」高倉浩樹・滝澤克彦編『無形民俗文化財が被災するということ—東日本大震災と宮城県沿岸部社会の民俗誌』新泉社, pp.102-110, 2014年
- 木村敏明「プロテスタント宣教師の見た「呪術」と現地社会」江川純一・久保田



- 浩編『「呪術」の呪縛』上巻 LITHON, pp233-255, 2015 年
- 木村敏明「他宗教とともに生きる」佐島隆編『国際学入門』法律文化社, 印刷中
- 山田仁史「臺灣原住民有關星辰的觀念與神話」黄緑萍(譯)、陳器文(編)『新世紀神話研究之反思：第八屆通俗文學與雅正文學國際學術研討會論文集』(興大中文學報；第 27 期 刊)：469-490. 台中：國立中興大學中國文學系、2010 年 12 月
- 山田仁史「オランダ民族学・宗教学と台湾原住民研究」笠原政治(編)『馬淵東一と台湾原住民族研究』：171-199. 東京：風響社、2010 年 12 月
- 山田仁史「レヴィ＝ストロースと大林太良：神話学における構造と歴史」『比較日本文化研究』14 (特集 構造主義と日本研究：レヴィ＝ストロース追悼)：38-55、2010 年 12 月
- 山田仁史「日月の争いと星々の神話」『説話・伝承学』19: 21-40、2011 年 3 月
- 山田仁史「台湾のシンデレラ？」篠田知和基(編)『愛の神話学』：459-480、名古屋：楽瑯書院、2011 年 3 月
- 山田仁史「台湾原住民における焼畑」『焼畑の環境学：いま焼畑とは』(地球研ライブラリー；17)：337-372. 京都：思文閣出版、2011 年 10 月
- Yamada, Hitoshi, The Gourd in South Chinese and Southeast Asian Flood Myths. In: Shinoda Chiwaki (éd.), *Mythes, Symboles et Images*, I: 21–36, Chiba: Librairie Rakuro, 2011 年 12 月
- 太田明／橋本和夫／山田仁史「神話のトピック構造分析による比較研究」『情報処理学会第 74 回全国大会講演論文集』：3R-4、2012 年 3 月
- 山田仁史「環太平洋の日本神話：一三〇年の研究史」『古事記：環太平洋の日本神話』(アジア遊学；158)：6-24. 東京：勉誠出版、2012 年 10 月
- 山田仁史「台湾原住民における〈動物の主〉試論」『台湾原住民研究』16: 53–68、2012 年 11 月
- 山田仁史「幽界からの声：〈驢馬の耳〉譚再考」篠田知和基(編)『異界と常世』：145–160、千葉：楽瑯書院、2013 年 3 月
- 山田仁史「日本と周囲諸地域のシャマニズムにおける弾弓」菊谷竜太／滝澤克彦(編)『身体的実践としてのシャマニズム』(東北アジア研究センター報告；8)：109–123、仙台：東北大学東北アジア研究センター、2013 年 3 月
- 山田仁史「アジアをみる眼」片岡樹／シンジルト／山田仁史(編)『アジアの人類学』(シリーズ来たるべき人類学；4)：3–42、横浜：春風社、2013 年 4 月
- 山田仁史「台湾原住民的〈文學母題〉與〈叙事文法〉」王立雪(譯)、『第三屆叙事

- 文學與文化國際學術研討會 論文合訂本』上冊: 1-20、台北: 國立臺灣師範大學國文學系、2013 年 10 月
- 山田仁史「環太平洋日本神話: 一三〇年的研究史」王立雪(訳)、孟慶枢(編)『中日文化文学比較研究』: 262-282、長春: 吉林出版集團有限責任公司、2013 年 10 月
- 山田仁史「東北の人類学・民俗学事始: 東北人が見た東北」熊谷公男/柳原敏昭(編)『境界と自他の認識』(講座東北の歴史; 第3巻): 317-341、大阪: 清文堂、2013 年 11 月
- 山田仁史「オーストロネシアから見た出雲神話」三浦佑之(編)『出雲: 古事記、風土記、遷宮…よみがえる神話世界』(現代思想; 第41巻16号): 274-285、東京: 青土社、2013 年 11 月
- 山田仁史「媒介者としての鳥: その神話とシンボリズム」『ビオストーリー』20: 22-29、2013 年 12 月
- Yamada, Hitoshi, The “Master of Animals” Concept of the Ainu. *Cosmos: The Journal of the Traditional Cosmology Society*, 29: 127-140, 2013 年
- Yamada, Hitoshi, Japanese Mythology from Ethnological Perspectives. *History Research*, 3(5): 309-316, 2013 年 5 月
- Yamada, Hitoshi, Forager Prototype or High-culture Influence for Hainuwele Myths? In: Shinoda, Chiwaki (éd.), *Route de la soie dans la mythologie*: 461-477, Chiba: Librairie Rakuro, 2014 年 3 月
- 山田仁史「第10章 北方の諸民族」山田仁史/永山ゆかり/藤原潤子(編)『水・雪・氷のフォークロア: 北の人々の伝承世界』: 299-339、東京: 勉誠出版、2014 年 3 月
- 山田仁史「及川真学の台湾原住民研究」日本順益台湾原住民研究会(編)野林厚志(主編)『順益台湾原住民博物館開館20周年記念論文集: 台湾原住民研究の射程—接合される過去と現在』: 227-245、台北: 順益台湾原住民博物館、2014 年 6 月
- 山田仁史「諸民族の信仰と食」南直人(編)『宗教と食』(食の文化フォーラム; 32): 18-41、東京: ドメス出版、2014 年 10 月
- 山田仁史「夢占と鳥占: 台湾原住民と東南アジアを中心に」『台湾原住民研究』18: 3-26、2014 年 11 月
- 山田仁史「北方諸民族のフォークロアにみる水観念」檜山哲哉/藤原潤子(編)『シベリア: 温暖化する極北の水環境と社会』(環境人間学と地域): 231-275、

- 京都：京都大学学術出版会、2015年3月
- 山田仁史「シーボルトと19世紀の日本神話研究」国立歴史民俗博物館（編）『シーボルトが紹介したかった日本：欧米における日本関連コレクションを使った日本研究・日本展示を進めるために』：25-33、佐倉：国立歴史民俗博物館、2015年3月
- Yamada, Hitoshi, Siebold and Studies of Japanese Mythology in the 19th Century. In: National Museum of Japanese History (ed.), Siebold's Vision of Japan: As Seen in Japan-related Collections in the West: 215-222, Sakura: National Museum of Japanese History, 2015年3月
- 滝澤克彦「村落空間論再考—「民俗」を可能にするもの」『東北民俗』第44輯、東北民俗の会、2010年7月
- 滝澤克彦「FIELD NOTE：異質なものとのお会い、言説の後ろにあるもの—モンゴルにおけるキリスト教のフィールド調査から—」『Arctic Circle』（北海道立北方民族博物館友の会・季刊誌）第76号（2010年秋号）、財団法人北方文化振興会、2010年9月
- 滝澤克彦「オシラ神の地域的および普遍的理解へ向けて—宮城県の事例から—」『第28回東北地方民俗学合同研究会 東北のオシラ神信仰』、青森県民俗の会、2010年11月
- 滝澤克彦（共編）『東日本大震災に伴う被災した民俗文化財調査2011年度報告集』、東北大学東北アジア研究センター、2012年6月
- 庄司一平「サンタヤーナの自然的宗教論」『論集』38号、印度学宗教学会、pp. 19-35、2011年12月
- 庄司一平「建国期米国における自然的宗教—『ジェファソン聖書』を中心に」『宗教学研究』87巻別冊、pp.221-225、2014年

## 1-2 著書・編著

- 鈴木岩弓共著『いま、この日本の家族—絆のゆくえ—』、弘文堂、pp.221、2010年
- 鈴木岩弓『講座東北の歴史 第六巻 生と死』（編著）、清文堂、2013年
- 鈴木岩弓『翻刻 東北民俗学研究』（編著）（東北文化資料叢書第七集）、東北大学大学院文学研究科東北文化研究室、pp.1-286、2014年
- 鈴木岩弓共編著『変容する死の文化—現代東アジアの葬送と墓制—』、東京大学出版会、pp. 230、2014年11月

木村敏明監修『聞き書き震災体験－東北大学90人が語る3.11』新泉社、pp.325、2012年。

Kimura Toshiaki 編著, *Stratification in Cultural Contexts*, Trans Pacific Press, 2013年

木村敏明・佐藤嘉倫編著編『社会階層と不平等—格差問題への多様なアプローチ』ミネルヴァ書房、2013年。柳原敏昭（編）佐竹輝昭／佐藤健治／曾根原理／七海雅人／柳原敏昭／山田仁史（執筆）『東北中世史の開拓者 大島正隆資料集』（東北文化資料叢書；第6集 史学史・民俗学史資料）仙台：東北大学大学院文学研究科東北文化研究室、2012年

滝澤克彦（編著）『ノマド化する宗教、浮遊する共同性—現代東北アジアにおける「救い」の位相』、東北大学東北アジア研究センター、2011年2月  
松村一男／平藤喜久子／山田仁史（編）『神の文化史事典』東京：白水社、2013年2月

片岡樹／シンジルト／山田仁史（編）『アジアの人類学』（シリーズ来たるべき人類学；4）横浜：春風社、2013年4月

Kimura Toshiaki 編著, *Stratification in Cultural Contexts*, Trans Pacific Press, 2013年

木村敏明・佐藤嘉倫編著編『社会階層と不平等—格差問題への多様なアプローチ』ミネルヴァ書房、平成25年（2013年）3月。

及川真学（著）山田仁史（編）『高砂族の呪法及び其他：及川真学の台湾原住民研究』東京：常円寺、2014年3月

山田仁史／永山ゆかり／藤原潤子（編）『水・雪・氷のフォークロア：北の人々の伝承世界』東京：勉誠出版、2014年3月

山田仁史『首狩の宗教民族学』東京：筑摩書房、2015年3月

### 1-3 翻訳、書評、解説、辞典項目等

鈴木岩弓（報告書）「第1節根白石地区にみるだるま」『仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書③ 仙台張子・鍛冶屋』（仙台市文化財調査報告書第375集）仙台市教育委員会、pp.59-62、2010年

鈴木岩弓（報告書）『仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑤ 仙台の正月飾り』（仙台市文化財調査報告書第375集）仙台市教育委員会、pp.1-93、2010年

鈴木岩弓（辞典項目）「墓」『宗教学事典』丸善、pp.490-493、2010年

鈴木岩弓・内館牧子（対談）「相撲とイタコと大学院」『現代宗教 2011』、pp.1

～16、国際宗教研究所、2011年

鈴木岩弓（基調講演）「墓からみる民族・国家・宗教の力学」『ノマド化する宗教浮遊する共同性—現代東北アジアにおける『救い』の位相—』、東北大学東北アジア研究センター、pp.9-37、2011年

鈴木岩弓（要旨）「柳田國男と仙台」『柳田國男と東北大学』東北大学大学院文学研究科、pp.3-9、2011年

鈴木岩弓（教育講演要旨）「死生学とは—現代日本における『死』の扱いの変化—」『死の臨床』57 日本死の臨床研究会、pp.20-21、2011年

鈴木岩弓（月報）「大学院時代の大城公男さん」『がじゅまる通信』No.68、榕樹書林、2011年

鈴木岩弓 2011.12（座談会）「大災害に見る家族、地域、人とのつながり」（戸松義晴・原礼子・渡辺秀樹と）『三田評論』No.1151、pp.10-27、慶應義塾、2011年

鈴木岩弓（寄稿）「展望 超宗派『心の相談室』」『週刊佛教タイムス』第 2471号、1面、2012年

鈴木岩弓（巻頭言）「桜の季節」『すいとく』第 693号、竹駒神社、p.1、2012年

鈴木岩弓（フォーラム）「いま、震災被災地で民俗学者ができること」『日本民俗学』270 日本民俗学会、pp.232-237、2012年

鈴木岩弓（要旨）「現代社会の死の文化—『中央公論』をてがかりに—」『歴博国際シンポジウム 現代における死の文化の変容—東アジア地域の葬送墓制を中心に—』国立歴史民俗博物館、pp.3-14、2012年

鈴木岩弓（巻頭言）「神社の社会統合機能」『すいとく』第 697号、竹駒神社、p.1、2012年

鈴木岩弓（要旨）「従墳墓看現代」『「台日殯葬文化」国際学術研究会／「2013台湾與日本生命文化事業国際学術論壇／台日「宗教與生死学」学术交流座談会 連合論文集』中華生死学会・仁徳医専生命關懷事業科・輔仁大学宗教学系、pp.139-144、2013年

鈴木岩弓（講演録）「霊と肉と骨—現代日本人の死者観念—」（第 56 回智山教学大会講演）『智山学報』第 62 輯、大正大学真言学智山研究会、pp.1-49、2013年

鈴木岩弓（巻頭言）「『宗教』と『信仰』」『すいとく』第 705号、竹駒神社、p.1、2013年

鈴木岩弓「東北大学の『臨床宗教師』養成構想」『全仏』No.590、全日本仏教会、

p.2, 2013 年

鈴木岩弓（巻頭言）「盆に来る霊」『すいとく』第 709 号，竹駒神社，p.1, 2013 年

鈴木岩弓（書誌紹介）「川村邦光『弔い論』」（『日本民俗学』第 278 号，p.149, 2014 年）

鈴木岩弓（鼎談）「東北・山形における死と鎮魂と再生」（松尾剛次・菊地和博と）平成 26 年度山形学フォーラム「老いと死」，2014 年

鈴木岩弓（追悼文）「岡田重精先生の思い出」（『「稲穂」先生の面影—岡田重精先生偲実草—』岡田重精先生を偲ぶ会，pp.30-31, 2014 年）

鈴木岩弓（対談）「医師にはできない心のケア 人はなぜ『幽霊』を見るのか」（柳田邦男と）『文藝春秋』第 92 巻 10 号，pp.338-345, 2014 年

鈴木岩弓（書誌紹介）「天江富彌『仙臺郷土句帖』」（『日本民俗学』第 279 号），2014 年

鈴木岩弓（書誌紹介）「吉川和子『黒沢尻ヌルシヤの分蜂』」（『日本民俗学』第 280 号，p.114, 2014 年）

鈴木岩弓（書誌紹介）「内藤理恵子『現代日本の葬送文化』」（『日本民俗学』第 281 号，p.104, 2014 年）

鈴木岩弓（書誌紹介）「櫻井義秀・稲場圭信責任編集『叢書 宗教とソーシャル・キャピタル』全 4 巻」（『宗教研究』第 88 巻第 3 輯，pp.279-290. 2014.12

木村敏明「祈りににおける「かたどり」と「ちから」—レーウの宗教論から」『宗教研究』363 号、2010 年

木村敏明「シンクレティズム」、『宗教学事典』（島菌進 編、丸善）、2010 年

木村敏明「東松島市浜市地区 2012 年 1 月 13 日」「東松島市浜市地区 2012 年 2 月 7 日」、高倉浩樹・滝澤克彦・政岡伸洋編『東日本大震災に伴う被災した民俗文化調査 2011 年度報告集』、東北アジア研究センター、2012 年

木村敏明「キリスト教」「教会」「プロテスタンティズム」「カトリック」「解放の神学」「俗信」、『現代社会学事典』（大澤真幸、吉見俊哉、鷺田清一 編、弘文堂）、2012 年

木村敏明「シンガマンガラジャ」「デウィ・スリ」「アンタボガ」「イラ・イライ・ランギト」「ディディス・マヘンデラ」「バタラ・グル」「バロン」「ムラジャディ」「ランダ」「ロロ・キドゥル」『事典世界の神々』白水社、2013 年

木村敏明「アジ研図書館所蔵新聞を使い倒す」（『アジ研ワールド・トレン

- ド』 No.210,P.71) 2013 年
- 木村敏明「ポスト災害社会における宗教」『宗教研究』375号, PP.393-394  
2013 年
- 木村敏明「東松島市鳴瀬浜市地区」(高倉浩樹他編『東日本大震災に伴う被災した民俗文化財調査 2012 年度報告集』 pp.149-152)、2013 年
- 木村敏明「災害モニュメントが象徴するもの」『中外日報』2013 年 9 月 24 日版、  
P.5, 2014 年
- 木村敏明「世界宗教地勢 インドネシア総選挙」『中外日報』2014 年 9 月 24 日版、  
P.4, 2014 年
- 木村敏明「インドネシアで「宗教」について考える」東北大学大学院文学研究科  
講演・出版企画委員会編『文化理解のキーワード』 PP.39-68, 2014 年
- 木村敏明「祈願絵馬の十年」『塩竈さま』161号, P.7, 2015 年
- 山田仁史「神意問う裁判の史跡たどる：書評 清水克行著『日本神判史 盟神探湯・湯起請・鉄火起請』中公新書」『東京新聞』2010 年 7 月 11 日
- 山田仁史「神話」星野英紀／池上良正／氣多雅子／島蘭進／鶴岡賀雄(編)『宗  
教学事典』:206-207、東京：丸善、2010 年 10 月
- 佐竹輝昭／佐藤健治／曾根原理／七海雅人／柳原敏昭／山田仁史「東北大学史料  
館所蔵「大島正隆文書」目録」『国史談話会雑誌』51: 1-69、2010 年 12 月
- 山田仁史「ナイアガラの滝の起源伝説」篠田知和基(編)『神話・象徴・言語』III:  
141-146、名古屋：楽瑯書院、2010 年 12 月
- 山田仁史「狗肉の食とそのタブー」『食文化誌 ヴェスタ』84: 54-57, 85: 46-49, 86:  
44-47、2011-12 年
- 山田仁史「日本における民族学的神話研究」『宗教研究』84(4) [367] : 968-969、  
2011 年 3 月
- 山田仁史「大林太良与日本神話学」王立雪(訳)、『長江大学学报(社会科学版)』  
34(9): 5, 18、2011 年 9 月
- 山田仁史「新刊紹介 石垣直著『現代台湾を生きる原住民：ブヌンの土地と権利  
回復運動の人類学』」『台湾原住民研究』15: 203-205、2011 年 11 月
- 山田仁史「シベリアの洪水伝説：災害体験の継承方法としての神話」藤原潤子／  
檜山哲哉(編)『平成 23 年度 FR3 研究プロジェクト報告 温暖化するシベリ  
アの自然と人：水環境をはじめとする陸域生態系変化への社会の適応』(地  
球研プロジェクト C-07) : 165-182、京都：総合地球環境学研究所、2012 年  
3 月

- 山田仁史「シャマニズムをめぐる神話と世界観」高倉浩樹（編）『極寒のシベリアに生きる：トナカイと氷と先住民』：219-237, xi-xii、東京：新泉社 2012 年  
ベリョースキン、ユーリ「環太平洋における日本神話モチーフの分布」山田仁史  
（訳）、『古事記：環太平洋の日本神話』（アジア遊学；158）： 25-41. 東京：勉  
誠出版、2012 年 4 月
- 山田仁史『台湾原住民族の音楽と文化』国際学術シンポジウム：天理にて開催の  
報告』『台湾原住民研究』16: 139-141、2012 年 11 月
- 山田仁史「書評 渡邊昌史著『身体に託された記憶：台湾原住民の土俵をもつ相撲』  
『台湾原住民研究』16: 174-179、2012 年 11 月
- 山田仁史「神話」（716-717）、「神話学」（717）、「他界」（845）、「天」（917）、「農耕  
儀礼」（1009）、見田宗介（顧問）大澤真幸／吉見俊哉／鷺田清一（編）『現代  
社会学事典』東京：弘文堂、2012 年 12 月
- 山田仁史「文献紹介『なぜ生命は捧げられるか：日本の動物供犠』原田信男著  
『食文化誌 ヴェスタ』89: 70-71、2013 年 2 月
- 山田仁史「書評 李福清『中國各民族神話研究外文論著目録（1839～1990）』  
『東北アジア研究』17: 159-163、2013 年 2 月
- 山田仁史「（シンポジウム報告要旨）台湾原住民と日本：『旧慣』の近代化とその影  
響』『21 世紀アジア学研究』11: 156、2013 年 3 月
- 山田仁史「北方の水・雪・氷のフォークロア」藤原潤子／檜山哲哉（編）『平成 24  
年度 FR4 研究プロジェクト報告 温暖化するシベリアの自然と人：水環境を  
はじめとする陸域生態系変化への社会の適応』（地球研プロジェクト C-07）：  
160-167、京都：総合地球環境学研究所、2013 年 3 月
- 山田仁史「神話と私たち」全 6 回（科学の泉）、『河北新報』2013 年 6 月 11-16 日  
付、2013 年 6 月
- 山田仁史「解題：胡台麗著・堀江晋訳「サイシャット矮人祭歌舞祭儀の『イメー  
ジの層疊化』現象」『台湾原住民研究』17: 100-101、2013 年 11 月
- 山田仁史（新刊紹介）「林初梅編『小川尚義論文集 [復刻版]：日本統治時代にお  
ける台湾諸言語研究』『台湾原住民研究』17: 259-261、2013 年 11 月
- 山田仁史「夢のドゥクドゥク、幻のトゥブアン」『日本オセアニア学会  
NEWSLETTER』108: 15-20、2014 年 3 月
- 山田仁史「民族学（エスノロジー）」「類似的な神話」国立民族学博物館（編）『世界  
民族百科事典』：8-9, 208-209、東京：丸善出版、2014 年 7 月
- 山田仁史「（書評）松村一男著『神話思考 II 地域と歴史』『宗教研究』88(2) [総



- 380号] : 235-238、2014年9月
- 山田仁史「(書評) Oka, Masao “Kulturschichten in Alt-Japan” (2 Bde.), herausgegeben und mit einer Einleitung versehen von Josef Kreiner」『文化人類学』79(2): 182-184、2014年9月
- ミュラー、フリードリヒ・マックス『比較宗教学の誕生：宗教・神話・仏教』（宗教学名著選；第2巻）松村一男／下田正弘（監修）山田仁史／久保田浩／日野慧運（訳）東京：国書刊行会、2014年10月
- 笠原政治／角南聡一郎／山田仁史（編）「金子えりか先生著作目録」『台湾原住民研究』18: 185-188、2014年11月
- 山田仁史「(新刊紹介)『台湾原住民族の音楽と文化』下村作次郎・孫大川・林清財・笠原政治編」『台湾原住民研究』18: 254-256、2014年11月
- エンゲルハルト、ユッタ「儀礼的柱トモック：ポテルトバゴ島ヤミ族の伝統的世界像における世界支柱の象徴」山田仁史（訳）、『台湾原住民研究』18: 27-37、2014年11月
- 滝澤克彦「FIELD NOTE：異質なものととの出会い、言説の後ろにあるもの—モンゴルにおけるキリスト教のフィールド調査から—」『Arctic Circle』第76号、財団法人北方文化振興会、pp.14-17、2010年
- 滝澤克彦「宗教進化論」星野英紀／池上良正／氣多雅子／島蘭進／鶴岡賀雄編『宗教学事典』、丸善、2010年10月
- 庄司一平「G・サンタヤーナにおける自然主義と宗教」『宗教研究』83(4)、pp. 221-222、2010年
- 庄司一平「米国における「宗教の倫理化」」『宗教研究』84(4)、pp. 296-297、2011年
- 庄司一平「12月例会報告」『けせら』40号、東北民俗の会、pp. 2-3、2013年
- 庄司一平「サンタヤーナと自然的宗教」『宗教研究』86(4)、2013年
- 庄司一平「4月例会報告」『けせら』43号、東北民俗の会、2014年
- 大村哲夫「死者へおくる卒業証書：東日本大震災において非業の死を遂げた子ども慰霊と遺族の癒し」『科学研究費補助金 基盤研究(B)宗教性/スピリチュアリティと精神的健康の関連—苦難への対処に関する実証的研究—研究成果報告書』2015年

#### 1-4 口頭発表

- 鈴木岩弓「日本人的信仰観」，中国：東南大学外国語学院学術講座、2010年3月

2日

鈴木岩弓「日本人的宗教信仰」，中国：東南大学外国語学院学術講座、2010年3月2日

鈴木岩弓「霊場恐山にみる他界の構造」日本宗教民俗学会創立20周年記念シンポジウム、2010年6月12日

鈴木岩弓「生老病死にみる民俗の変化」日本民俗学会第62回年会公開シンポジウム：コーディネーター、2010年10月2日

鈴木岩弓「死生学について」第34回日本死の臨床研究会：教育講演、2010年11月6日

鈴木岩弓「東北地方の骨葬習俗」国立歴史民俗博物館「高度経済成長期とその前後における葬送墓制の習俗の変化に関する研究」第2回共同研究会、2010年11月13日

鈴木岩弓「宮城県の宗教者による支援と『心の相談室』」宗教者災害支援連絡会：第2回情報交換会、講師、2011年05月22日

鈴木岩弓「『心の相談室』のこころみー震災に対する超宗派的取り組みー」日蓮宗宗務院研修会、講師、2011年06月10日

鈴木岩弓「墓からみる民族・国家・宗教の力学」『ノマド化する宗教浮遊する共同性ー現代東北アジアにおける『救い』の位相ー』：基調講演、東北大学東北アジア研究センター、pp.9-37、2011年

鈴木岩弓「与半跏趺坐地藏像有关的民間信仰」、民俗艺术学国际学术研讨会、2011年9月10日

鈴木岩弓「山と神と日本人」中国：東南大学外国語学院学術講演会、2011.09.12

鈴木岩弓「東日本大震災にみる土葬の復活ー“あり得べき”死者の姿ー」、東京大学GCOE：エジプト・日本学術シンポジウム死者の追悼と文明の岐路2011年、2011年9月23日

鈴木岩弓「命のウツワ」プロジェクト シンポジウム、2011年10月10日

鈴木岩弓「東日本大震災にみる弔いの諸相」曹洞宗総合研究センター第13回学術大会、2011年10月24日

鈴木岩弓「心の相談室と東北の宗教文化」京都大学第2回東日本大震災関連プロジェクト研究会、2012年1月24日

鈴木岩弓「東日本大震災における土葬の選択ー現代日本人の死者観ー」国際シンポジウム「大震災と価値の創生」、2012年3月10日

鈴木岩弓「地域コミュニティの再構築」（世界宗教者平和会議「復興に向けた宗

- 教者円卓会議—今後の WCRP による取り組みのあり方を考える—、2012 年  
05 月 22 日
- 鈴木岩弓「霊と肉と骨—現代日本人の死者観念—」、智山教学会第 56 回大会、2012  
年 05 月 18 日
- 鈴木岩弓「震災以後の宗教者のちから—「心の相談室」から生まれた「実践宗教  
学寄附講座」—」宗教倫理学研究会 2012 年度研究プロジェクト「3.11 以降の  
社会と宗教」、2012 年 06 月 15 日
- SUZUKI Iwayumi, Perception of the Dead in Contemporary Japan : Observation through  
the Great East-Japan Earthquake, DDU (Death Down Under 2012), 2012 年 06 月 29  
日
- 鈴木岩弓「現代社会の死の文化」（歴博国際シンポジウム「現代における死の文  
化の変容—東アジアの葬送墓制を中心に—」冒頭報告）2012 年 07 月 07 日
- 鈴木岩弓「第 3 回東日本大震災関連プロジェクト～心の再生に向けて」（コメン  
テータ）2012 年 07 月 11 日
- 鈴木岩弓「東日本大震災後の『絆』再興にみる宗教の“ちから”」日本宗教学会  
第 71 回学術大会公開シンポジウム「ためされる宗教の公益」、2012 年 9 月 7  
日
- 鈴木岩弓「震災からの復興にみる宗教の“ちから”」現代における宗教の役割研究  
会第 59 回コルモス研究会議：講師、2012 年 12 月 26 日
- 鈴木岩弓 パネルディスカッション「東日本大震災と宗教者・宗教学者」：総合司  
会、2013 年 03 月 02 日
- 鈴木岩弓 公開シンポジウム「死者と向きあう」印度学宗教学会第 55 回学術大会：  
コメンテータ、2013 年 06 月 01 日
- 鈴木岩弓「震災後の幽霊の語りと民俗」京都大学第 4 回東日本大震災関連プロジ  
ェクト：講演、2013 年 07 月 09 日
- 鈴木岩弓「宗教と公共性」国際日本文化研究センターシンポジウム「宗教と公共  
性—神道と宗教復興から—」：口頭発表、2013 年 07 月 21 日
- 鈴木岩弓「現代日本人にみる死生観」平成 25 年度鶴見大学先制医療研究センター  
公開シンポジウム「終末期における医療と宗教の協働化に向けて」講師、2013  
年 11 月 9 日
- 鈴木岩弓「現代日本の死の文化からみた「無縁社会」」インドネシア日本研究学  
会：キーノートスピーカー、2013 年 11 月 28 日
- 鈴木岩弓「東日本大震災後の伝統芸能」アチェ-日本フォーラム講演講師、2013 年

12月3日

鈴木岩弓「東日本大震災と臨床宗教師」教派神道連合会「いのちの重さを考える」  
講師, 2013年12月11日

鈴木岩弓「被災地と宗教—東日本大震災から三年—」国際宗教同志会, 2014年02  
月14日

鈴木岩弓「東日本大震災被災地の復興と宗教」新宗連東日本大震災復興祈念集会:  
基調発題, 2014年03月07日

鈴木岩弓「東日本大震災後の怪異現象」真宗大谷派教学研究所「震災と原発」研  
究班講演会: 講師, 2014年04月25日

鈴木岩弓「東北大学における臨床宗教師構想—東日本大震災から超高齢多死社会  
へ—」龍谷大学大学院 公開特別講義講師, 2014年05月12日

鈴木岩弓「東北大学実践宗教学寄附講座の取り組み」WCRP(世界宗教者平和会議)  
日本委員会 復興に向けた宗教者円卓会議 in 仙台, 2014年05月19日

鈴木岩弓「民間信仰にみる文字の“ちから”」印度学宗教学会第56回学術大会:  
公開講演招請講師, 2014年05月31日

鈴木岩弓「震災被災地にみる死者と生者の接点」日本口承文芸学会第38回大会:  
公開講演会招請講師, 2014年06月07日

鈴木岩弓「「臨床宗教師」の社会実装—震災被災地から超高齢多死社会へ—」  
日本ホスピス在宅ケア研究会 in 神戸: 招請講演講師, 2014年07月12日

鈴木岩弓「東日本大震災からの復興にみる民間芸能の力」ASJI (Asosiasi Studi Jepang  
di Indonesia) National Symposium 2014 [招請講師], 2014年11月28日

木村敏明「宗教文化教育に求められるもの—大学教員の立場から」シンポジウム「宗  
教文化教育に求められるもの」、國學院大學、2010年

木村敏明「宗教学からみた「幸福」—トバ・バタック社会の事例より」第3回「人  
間と地球と緑」研究会、総合地球環境学研究所、2010年

木村敏明「国家・文化・宗教—アブドゥルラフマン・ワヒドの寛容思想」印度学宗  
教学会課題研究「宗教と寛容」、大阪国際大学、2010年

木村敏明「集団合宿調査の理念と現実—東北大学宗教学実習の試み」第2回宗教文  
化の授業研究会、國學院大學、2010年

木村敏明「人間と地球と緑のあり方—文化的関わり」中日学者草原生態問題学術座  
談会、内蒙古社会科学院: 中国、2010年

木村敏明「宗教文化教育の意義と位置を模索して」「宗教学教育の現状と課題」研  
究会、大正大学、2010年

- 木村敏明「天災・神災・人災—西スマトラ地震をめぐる語りの分析から」日本宗教学会、東洋大学、2010年
- Kimura Toshiaki, “Pesta Perkawinan di dalam Masyarakat Japan” 日本文化セミナー、北スマトラ大学：インドネシア、2010年
- 木村敏明「公共を模索する宗教—東日本大震災後の動向から」公共哲学京都フォーラム、神戸ポートホテル、2011年
- 木村敏明「祈りの力と無力」メレンダセミナー（東北大学）2011年
- 木村敏明「震災体験の共有、記録へ向けて—東北大学震災体験記録プロジェクトの試み」、みちのく図書館職員連合、岩沼市民図書館、2011年
- 木村敏明「集団埋葬と宗教—インドネシア・スマトラの事例—」、エッジの社会学—ソーシャルワイズの探求研究会、関西学院大学、2011年
- Kimura Toshiaki “Learning Local Wisdom from Indonesian Society”, FESTINA Indonesian Culture Day for Tohoku, (仙台) 2012年
- 木村敏明「西スマトラ震災後の集団埋葬をめぐる葛藤—住民・宗教者・地域政府」印度学宗教学会（東北福祉大学）2012年
- 木村敏明「東松島市浜市地区の事例」みやしんぶん7月例会、東北大学、2012年
- 木村敏明「ポスト震災社会における宗教—スマトラの事例から」日本宗教学会、皇學館大學、2012年
- Kimura Toshiaki, Religious practice and social resilience after Great East Japan Earthquake and Tsunami, 2012.9.29., CSSI-IOS Symposium on Social Changes under Globalization(Tohoku University)
- Kimura Toshiaki, Mass graves after mega quake, 2012.11.23., International Symposium Salvage & Salvation –Disaster, Religion and Rehabilitation(National University of Singapore)
- Kimura Toshiaki, Reconfiguring the religious role in post-disaster society –the social impact of mass graves in Japan and Indonesia. 2012.11.27., The Australia Sociological Association, (The University of Queensland: Australia)
- 木村敏明「民俗芸能と祭礼からみた地域復興—宗教学の立場から」2013.2.23, シンポジウム：民俗芸能と祭礼からみた地域復興—東日本大震災にともなう被災した無形の民俗文化財調査から（東北大学片平さくらホール）
- 木村敏明「「一神教」になった仏教—インドネシアにおけるパンチャシラ体制と仏教復興」2013.5.9., アジアの仏教と文化（龍谷大学）
- 木村敏明「宣教師の見た「呪術」とインドネシア社会」2013.6.8., 宗教史研究会（東

洋英和女学院大学)

Kimura Toshiaki, To continue or Not? –Dispersed community and ritual revival after East Japan Great Earthquake and Tsunami, 2013.8.6. International Union of Anthropological and Ethnological Sciences, (University of Manchester: Great Britain) 2013 年

Kimura Toshiaki, The Religious Challenge and the Challenge to Religions, 2013.9.19, The 10<sup>th</sup> Asia-Pacific Congress on Pastoral Care and Counseling (Tohoku University, Sendai)

木村敏明「聖典と口頭文化が出会うときーバタック宣教の事例」2014. 5. 31, 印度学 宗教学会 (種智院大学)

木村敏明「ジャワ島ムラピ山噴火災害と宗教」,2014.9.13, 日本宗教学会 (同志社大学)

Kimura Toshiaki, Religious Conditions in Japanese Society after 3.11 earthquake, 2014.10.8, International Conference on Natural Disaster-Theological and Cultural Perspective, (The State Islamic University, Indonesia)

Kimura Toshiaki, Lost Community Ritual and Its Revival after Tohoku Earthquake, International Workshop Tohoku & Canterbury on Disaster, 2014.10.30 (University of Canterbury, New Zealand)

Kimura Toshiaki, Reevaluating Religious Role as a Social Resilience in Post 3.11 Japan, The 6th International Graduate Students and Scholars Conference, 2014.11.19(Gadjamada University, Indonesia)

山田仁史「日月の争いと星々の神話」説話・伝承学会 2010 年度春季大会公開シンポジウム「宇宙の神話-太陽・月・星-」、京都：花園大学、2010 年 4 月

山田仁史「台湾原住民における焼畑」プロジェクト「農業が環境を破壊するとき：ユーラシア農耕史と環境」全体会議、京都：総合地球環境学研究所、2010 年 5 月

山田仁史「天体神話の諸問題」第 53 回印度学宗教学会学術大会、守口：大阪国際大学守口キャンパス、2010 年 5 月

山田仁史「18 世紀から 19 世紀にかけての比較神話研究」日本シェリング協会第 19 回大会、横浜：神奈川大学、2010 年 7 月

Yamada, Hitoshi, “Japanese Mythology from Ethnological Perspectives,” XXth World Congress of the International Association for the History of Religions, Toronto: University of Toronto, 2010 年 8 月

Yamada, Hitoshi, On the Origin of Ordeals in Japan, Le crime et le ch timent dans la

- mythologie, Osaka: Osaka University, 2011 年 9 月
- 山田仁史「台湾のシンデレラ？」比較神話学シンポジウム：のろわれた愛、名古屋：名古屋市市政資料館、2011 年 1 月
- 山田仁史「日本と周囲諸地域のシャマニズムにおける弾弓」東北シャマニズム研究会国際シンポジウム「身体的実践としてのシャマニズム」仙台：東北大学、2011 年 2 月
- 山田仁史「シベリアの洪水伝説：災害体験の継承方法としての神話」地球研シベリアプロジェクト全体会議、京都：総合地球環境学研究所、2011 年 10 月
- 山田仁史「泣く文化についての若干のコメント」東北大学東北アジア研究センター「シベリアにおける人類生態と社会技術の相互作用研究ユニット」特別講演会、仙台：東北大学、2011 年 11 月
- 山田仁史「殺人は罪か？：首狩と人身供犠のあいだ」GRMC2012 比較神話学シンポジウム「罪と罰の神話：犠牲と贖罪の儀礼」千葉：千葉大学、2012 年 1 月
- 山田仁史「夢占（ゆめうら）と鳥占（とりうら）：台湾原住民族と東南アジアを中心に」宗教史学研究所第 55 回研究会、東京：東洋英和女学院大学大学院、2012 年 6 月
- Yamada, Hitoshi, Brother pairs and twin brothers in Japanese and Circumpacific legends and tales: Possible reflection of the hunting-fishing worldview, Sixth Annual International Conference on Comparative Mythology, St. Petersburg: European University, 2012 年 9 月
- 山田仁史「北方の水・雪・氷のフォークロア」地球研シベリアプロジェクト全体報告会、名古屋：名古屋大学、2012 年 11 月
- 山田仁史「幽界からの声：〈驢馬の耳〉譚再考」GRMC：2012 年冬・比較神話学シンポジウム「幽世（かくりよ）の明暗」千葉：千葉県文化会館別館聖賢堂、2012 年 12 月
- 山田仁史「台湾原住民と日本：「旧慣」の近代化とその影響」21 世紀アジア学会主催シンポジウム：“アジアの覚醒”と日本：アジア学理解のために、東京都町田市：国士舘大学町田キャンパス、2013 年 1 月
- 山田仁史「及川真学の台湾原住民研究」台湾原住民研究会、東京：日本大学経済学部、2013 年 7 月
- 山田仁史「ドイツ語圏民俗学における雪と氷の諸観念」地球研シベリアプロジェクト全体会議、札幌：北海道大学、2013 年 11 月
- Yamada Hitoshi, Forager prototype or high-culture influence for Hainuwele myth?,

- Colloque de Mythologie Comparée, “Origines de la culture: céréales, métaux, textile,”  
Hachioji: Chuo University, 2013 年 8 月
- Yamada Hitoshi, Siebold und die Forschungen zur japanischen Mythologie im 19.  
Jahrhundert. International Symposium: Siebolds Vision von Japan im Spiegel seiner  
Sammlungen in Europa und den USA, Bochum: Ruhr-Universität, 2014 年 2 月
- Yamada Hitoshi, Hero’s Secret: “Donkey’s Ears” Legends in Eurasia and Their Diffusion  
to East Asia. 8th Annual International Conference on Comparative Mythology,  
Yerevan, Armenia, 2014 年 5 月
- 山田仁史「民族学からみた宗教と食：アジアを中心に」食の文化フォーラム「宗  
教と食」：第3回「大宗教」の外側、東京：味の素グループ高輪研修センター、  
2014 年 3 月
- 山田仁史「禁断の肉？：人類学におけるカニバリズムの虚実」共同研究会：肉食  
行為の研究、吹田：国立民族学博物館、2014 年 5 月
- 山田仁史「世界・東南アジア・台湾：首狩から「地域」を考える」CIAS 複合ユニ  
ット第1回研究会、京都：京都大学地域研究統合情報センター、2014 年 6 月
- 山田仁史「〈物言う魚〉の神話学：オセアニアの信仰世界」研究会「モノ／コト／  
コトバの人類学：探求し続ける後藤明先生、その未来」名古屋：賀城園、2014  
年 6 月
- 山田仁史「南船北馬と西船東馬：東アジアにおける地域性と多様性」台日交流合同  
学会、神戸：神戸女子大学三宮キャンパス、2014 年 9 月
- 山田仁史「環太平洋の神話：分布・伝播研究のために」日本口承文芸学会第 67 回  
研究例会：シンポジウム「口承文芸モチーフの分布と伝播」東京都調布市：  
白百合女子大学、2014 年 10 月
- 山田仁史「犬肉食をめぐるタブーとアイデンティティ」科研基盤（A）「動物殺し  
の比較民族誌研究」2014 年度全体集会、伊東：桜美林学園伊豆高原クラブ、  
2015 年 1 月
- 滝澤克彦 Memories of Socialism and Religion in Mongolia: The Persistence and  
Transformation of Household Rituals (Organized Panel, “Memories of Religion as  
National Heritage in Connection with the Atheism” ), East Asian Conference for  
Slavic Eurasian Studies 2010, ソウル：ソウル教育文化会館、2010 年 3 月 5 日
- 滝澤克彦「オシラ神の地域的および普遍的理解へ向けて—一宮城県の事例から—」  
平成 22 年度東北地方民俗学合同研究会「東北のオシラ神信仰」、浅虫温泉南  
部屋（青森）、2010 年 11 月 20 日



滝澤克彦、総合討論司会、東北シャマニズム研究会シンポジウム「シャマン的世界のリアリティをどうとらえるか」、東北大学、2010年

滝澤克彦「宗教における社会主義という経験をどうとらえるか—モンゴル国の事例から」平成22年度東北アジア研究センター「東北アジア地域」に関する共同研究公開シンポジウム「東北アジア地域における宗教の新たな展開—中国とその近隣—」、東北大学、2011年2月27日

滝澤克彦 Crossing borders: Community of 'Salvation' in Mongolian Christianity, MIASU (Mongolia and Inner Asian Study Unit, Cambridge University) Discussion Group, Cambridge: MIASU, University of Cambridge、2011年3月8日

滝澤克彦「現前と不在のあいだ—東日本大震災の宗教学的的試論—」「宗教と社会」学会第20回学術大会、長崎国際大学、2012年6月17日

庄司一平「米国における宗教的自由と寛容・非寛容」第53回印度学宗教学会課題研究「寛容と非寛容」、大阪国際大学、2010年5月29日

庄司一平「米国における「宗教の倫理化」」日本宗教学会第69回学術大会、東洋大学、2010年9月4日

庄司一平「サンタヤーナと自然的宗教」日本宗教学会第71回学術大会、皇學館大学、2012年9月8日

庄司一平「建国期米国における自然的宗教—『ジェファソン聖書』を中心に—」日本宗教学会第72回学術大会、國學院大學、2013年9月8日

庄司一平「切り取られた神の言葉—『ジェファソン聖書』について—」印度学宗教学会第56回学術大会、種智院大学、2014年6月1日

## 2 教員の受賞歴 (2010~2014年度)

なし

## IV 教員による競争的資金獲得 (2010~2014年度)

### (1) 科学研究費補助金

2010年度

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究代表者) 「わが国葬送墓制の現代的変化に関する実証的研究 —〈個〉と〈群〉の相克—」

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 鈴木岩弓 (研究分担者) 「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 木村敏明 (研究代表者) 「ポスト災害社会

における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 若手研究 (B) 山田仁史 (研究代表者) 「神話にみられる  
ヒトと自然の相互関係-東アジア基層文化の宗教民族学的研究-

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 山田仁史 (研究分担者) 「東アジアにおけ  
る家畜の伝播とその展開に関する動物考古学的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 山田仁史 (研究分担者) 「ポスト災害社会  
における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 山田仁史 (連携研究者) 「世界神話二元構  
造の研究」

科学研究費補助金 若手研究 (B) 滝澤克彦 (研究代表者) 「モンゴルにおけ  
る宣教と聖書翻訳の宗教社会学的研究」、1,400 千円

#### 2011 年度

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究代表者) 「わが国葬送墓制  
の現代的変化に関する実証的研究 ―〈個〉と〈群〉の相克―

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (連携研究者) 「宗教文化教育の  
教材に関する総合研究」 (研究代表者・井上順孝)

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 鈴木岩弓 (研究分担者) 「ポスト災害社会  
における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 木村敏明 (研究代表者) 「ポスト災害社会  
における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 木村敏明 (研究分担者) 「宗教文化教育の  
教材に関する総合的研究」

#### 2012 年度

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究代表者) 「わが国葬送墓制  
の現代的変化に関する実証的研究 ―〈個〉と〈群〉の相克―

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (連携研究者) 「宗教文化教育の  
教材に関する総合研究」 (研究代表者・井上順孝)

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 鈴木岩弓 (研究分担者) 「ポスト災害社会  
における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 木村敏明 (研究代表者) 「ポスト災害社会  
における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 木村敏明 (研究分担者) 「宗教文化教育の  
教材に関する総合的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 山田仁史 (研究分担者) 「東アジアにおける家畜の伝播とその展開に関する動物考古学的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 山田仁史 (連携研究者) 「世界神話二元構造の研究」

#### 2013 年度

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究代表者) 「わが国葬送墓制の現代的变化に関する実証的研究 ―〈個〉と〈群〉の相克―」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究分担者) 「喪失と悲嘆に対する宗教的ケアの有用性とその専門職育成についての研究」 (研究代表者・谷山洋三)

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (連携研究者) 「宗教文化教育の教材に関する総合研究」 (研究代表者・井上順孝)

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 鈴木岩弓 (研究分担者) 「東北被災地における心霊体験の語りと宗教者による対応に関する宗教学的的研究」 (研究代表者・高橋原)

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 木村敏明 (研究代表者) 「ポスト震災社会における宗教的多様性に関する国際比較研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 木村敏明 (研究分担者) 「宗教文化教育の教材に関する総合的研究」

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 木村敏明 (研究分担者) 「東日本大震災後の民俗文化に関わる災害民族誌研究の国際的ネットワーク構築」 (研究代表者・高倉浩樹)

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 木村敏明 (研究分担者) 「東北被災地域における心霊体験の語りと宗教者による対応に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 山田仁史 (研究分担者) 「東アジアにおける家畜の伝播とその展開に関する動物考古学的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 山田仁史 (連携研究者) 「世界神話二元構造の研究」

#### 2014 年度

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究代表者) 「現代日本の葬送墓制をめぐる〈個〉と〈群〉の相克―東日本大震災を見据えて―」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究分担者) 「喪失と悲嘆に対する宗教的ケアの有用性とその専門職育成についての研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (連携研究者) 「宗教文化教育の教材に関する総合研究」

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 鈴木岩弓 (研究代表者) 「現代日本における『死のケア』のための異分野融合研究」

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 鈴木岩弓 (研究分担者) 「東北被災地における心霊体験の語りと宗教者による対応に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究(B) 木村敏明 (研究代表者) 「ポスト震災社会における宗教的多様性に関する国際比較研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 木村敏明 (研究分担者) 「宗教文化教育の教材に関する総合的研究」

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 木村敏明 (研究分担者) 「東日本大震災後の民俗文化に関わる災害民族誌研究の国際的ネットワーク構築」

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 木村敏明 (研究分担者) 「東北被災地域における心霊体験の語りと宗教者による対応に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 若手研究 (B) 庄司一平 (研究代表者) 「〈宗教史〉としての米国史—法と聖書と自然的宗教をめぐって—」

#### 2015年度

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究代表者) 「現代日本の葬送墓制をめぐる〈個〉と〈群〉の相克—東日本大震災を見据えて—」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究分担者) 「喪失と悲嘆に対する宗教的ケアの有用性とその専門職育成についての研究」

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 鈴木岩弓 (研究代表者) 「現代日本における『死のケア』のための異分野融合研究」

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 鈴木岩弓 (研究分担者) 「東北被災地における心霊体験の語りと宗教者による対応に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究(B) 木村敏明 (研究代表者) 「ポスト震災社会における宗教的多様性に関する国際比較研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 木村敏明 (研究分担者) 「宗教文化教育の教材に関する総合的研究」

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 木村敏明 (研究分担者) 「東日本大震災後の民俗文化に関わる災害民族誌研究の国際的ネットワーク構築」

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 木村敏明 (研究分担者) 「東北被災地域における心霊体験の語りと宗教者による対応に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究(C) 大村哲夫(研究代表者)「学校における子どもの死ー非業の死の受容に関する宗教学的的研究」

## (2) その他

### 2010 年度

国立歴史民俗博物館「高度経済成長期とその前後における葬送墓制の習俗の変化に関する研究」鈴木岩弓(共同研究員)

研究科長裁量経費「シャマニズム研究における学際的視座の確立ーシンポジウムおよび研究会の開催と研究成果の刊行ー」滝澤克彦(代表)

### 2011 年度

研究科長裁量経費「柳田國男と東北大学」鈴木岩弓(代表)

国立歴史民俗博物館「高度経済成長期とその前後における葬送墓制の習俗の変化に関する研究」鈴木岩弓(共同研究員)

宮城県地域文化遺産復興プロジェクト「東日本大震災に伴う被災した民俗文化財調査」木村敏明(研究分担者)

### 2012 年度

国立歴史民俗博物館「高度経済成長期とその前後における葬送墓制の習俗の変化に関する研究」鈴木岩弓(共同研究員)

宮城県地域文化遺産復興プロジェクト「東日本大震災に伴う被災した民俗文化財調査」木村敏明(研究分担者)

日本・アジア学講座「シャマニズムと〈動物の主〉のフォークロア：シベリア・アイヌ・日本」山田仁史、ノヴォシビルスク：ノヴォシビルスク大学人文学部東洋学科、2012年11月14日

東北開発記念財団海外派遣援助金、滝澤克彦「米国に居住するモンゴル人によるキリスト教会の活動の参与観察調査」17万円、2012年度

### 2013 年度

総長裁量経費「『臨床宗教師』養成プログラムの開発と社会実装」

宮城県地域文化遺産復興プロジェクト「東日本大震災に伴う被災した民俗文化財調査」木村敏明(研究分担者)

東北アジア研究センター共同プロジェクト「東日本大震災後の復興過程に関わる地域社会比較と民族誌情報の応用」木村敏明(研究分担者)

### 2014 年度

総長裁量経費「臨床宗教師の社会実装に向けた戦略的展開」鈴木岩弓

東北アジア研究センター共同プロジェクト「東日本大震災被災地域における  
宗教活動と社会的多様性に関する調査研究」木村敏明（代表）

東北アジア研究センター共同プロジェクト「東日本大震災後の復興過程に関  
わる地域社会比較と民族誌情報の応用」木村敏明（研究分担者）

研究科長裁量経費「東北文化講演会『東日本大震災、文学部からの復興のとり  
くみ』」木村敏明

#### 2015 年度

総長裁量経費「『臨床宗教師』の社会実装の戦略的展開」（研究代表者：鈴木  
岩弓）

東北アジア研究センター共同プロジェクト「東日本大震災被災地域における  
宗教活動と社会的多様性に関する調査研究」木村敏明（代表）

東北アジア研究センター共同プロジェクト「東日本大震災後の復興過程に関  
わる地域社会比較と民族誌情報の応用」木村敏明（研究分担者）

## V 教員による社会貢献（2010～2014 年度）

【鈴木岩弓】

<委員>

- ・青森県史編さん調査研究員（2010 年度～現在）
- ・仙台市市民文化事業団理事（2010～2011 年度）
- ・相馬市史編さん委員（2010 年度～現在）
- ・岩沼市史編集専門部会（民俗学）調査執筆員（2010 年度～現在）
- ・宗教文化教育推進センター運営委員（2010 年度～現在）
- ・宗教文化教育推進センター監査（2010 年度～2013 年度）
- ・人間文化研究機構国立歴史民俗博物館運営会議共同研究委員会委員（2010  
年度～現在）
- ・人間文化研究機構国立歴史民俗博物館運営委員（2012 年度～現在）
- ・人間文化研究機構国立歴史民俗博物館将来構想委員会委員（2012 年度～  
現在）
- ・人間文化研究機構国立歴史民俗博物館共同研究委員（2010～2012 年度）
- ・みやぎ県南中核病院倫理委員会委員（2015 年度～現在）

<公開講座等の講師>

2010 年 6 月 19 日「宗教から人間を科学する—参詣者の行動から見た恐山

- 信仰―」，第9期有備館講座 講師
- 2010年7月17日 「モノを通じて見た現代人の死生観」，仙台ターミナルケアを考える会教育セミナー講師
- 2010年7月18日 「神仏分離期以後の飯豊山信仰―登拝習俗の盛衰をめぐって―」ふるさとの山飯豊山を学ぶ講習会 講師
- 2010年9月11日 「祭りの機能論―宗教民俗学的考察―」歴史シンポジウム「祈りとくらし―仙台の民間信仰―」，仙台市歴史民俗資料館，講師
- 2010年10月09日 「生者と死者が出会う場所―霊地からみた東北の精神世界―」（2010年東北みらいプロジェクト・仙台セミナー：講演・伊集院静、平川新とパネルディスカッション）
- 2010年10月22日 「郷土の信仰」、仙台豊齢学園、講師
- 2011年07月02日 「現代日本人の死生観―モノを通じて観念を知る―」盛岡大学附属高校特進文化講演会、講師
- 2011年07月16日 「現代日本人の死生観―モノを通じて観念を知る―」夢ナビ講義ライブ、講師
- 2011年09月12日「山と神と日本人」（中国：東南大学外国語学院学術講演会）
- 2011年10月10日東日本大震災復興ボランティア文化活動「命のウツワ」プロジェクト シンポジウム
- 2011年10月27日「現代日本人にみる『死』への態度の変化」（県立中央病院講演会：講師）
- 2011年11月19日「柳田國男と仙台」（東北文化公開講演会柳田國男五十年祭記念シンポジウム「柳田國男と東北大学」基調講演）
- 2012年01月19日「東日本大震災における土葬の選択―現代日本人の死者観―」（第20回メレンダセミナー）
- 2012年01月24日「心の相談室と東北の宗教文化」（第2回東日本大震災関連プロジェクト～心の再生に向けて）
- 2012年02月20日「死者と生者の接点」（仙台豊齢学園ふるさと文化コース講師）
- 2012年05月24日「日本人の信仰構造―仏教と民俗の関わり―」（岩手県曹洞宗現職研修会：講師）
- 2012年06月08日「現代日本人の死生観の変化―モノから観念を探る―」

(SA カレッジ：講師)

2012年07月22日「いま人を弔うということ—鎮魂そして再生へ—」(葬送の自由を進める会「東日本葬送シンポジウム」：座長)

2012年08月27日「東北大学実践宗教学寄附講座における『臨床宗教師』の構想」(無限洞：講師)

2012年10月09日「日本人の信仰構造—仏教と民俗の関わり—」(真言宗御室派徳島県青年教師会30周年記念講演：講師)

2012年10月27日東日本大震災追悼シンポジウム「震災後、日本人はどう生きるか—宗教者の見地から—」(司会)

2012年11月11日「東日本大震災後の心のケア—東北大における臨床宗教師構想—」(東北大学105周年萩秋会九州交流会：講師)

2012年11月13日「公的領域における宗教の役割」(仙台ロータリークラブ例会・卓話：講師)

2012年11月28日「震災からの復興にみる宗教の力」(第34回世界連邦平和促進全国宗教者・信仰者会議：基調講演講師、パネリスト)

2012年12月06日「フィールドからみた宗教—宗教民俗学入門—」平成24年度宮城県仙台第二高等学校「一日大学」(講師)

2012年12月07日「死者と生者の接点」仙台豊齢学園「郷土の信仰」(講師)

2013年02月09日「現代人の信仰生活—宗教と民俗の関わり—」岩沼健幸大学(講師)

2013年03月04日「東日本大震災後の心のケア—東北大学における臨床宗教師構想—」(日本記者クラブ：記者会見)

2013年06月07日「現代日本人の死生観の変化」(SA カレッジ：講師)

2013年06月24日「現代日本人の死後観念—東日本大震災時の土葬採用をめぐって—」(第691回浅草寺仏教文化講座：講師)

2013年11月02日「霊と肉と骨—現代日本人の死者観念—」東北大学大学祭模擬授業講師

2013年12月01日「東日本大震災からの復興—「心のケア」をめぐって—」メダン総領事館公開講演会：講師

2013年12月13日「霊と肉と骨—東日本大震災直後の土葬の採用—」平成25年度東北学院大学教養学部講演会：講師

2014年03月09日「『臨床宗教師』養成プログラムの開発と社会実装」



東北大学災害復興新生研究機構シンポジウム

- 2014年03月16日「庶民に根差す『ころり信仰』—各地に見る実際—」  
リビングウイル研究会東北地方会
- 2014年05月23日「現代日本人の死生観—仙台市公営墓地の墓石調査—」  
(SAカレッジ：講師)
- 2014年08月21日「東日本大震災被災地にみる生者と死者の接点」東京自由  
大学夏合宿 「東北被災地を巡る鎮魂の旅 2」特別講話講師
- 2014年08月30日「イエ亡き時代の死者のゆくえ—柳田国男の思索の道—」  
第25回フェスティバル安穩 住職とトーク「私の終活 私の人生」,  
講演講師
- 2014年10月2日「臨床宗教師の理念—東北大学発の“social movement”—」  
文学研究科共通科目「実践宗教学試論」 [講師]
- 2014年10月7日「通過儀礼は何のため?—宗教民俗学的視座—」東北大  
学全学教育科目「ライフ・キャリアデザイン」 [講師] ,
- 2014年10月18日「現代日本人の信仰構造—スピリチュアルケアとの関わり  
から—」臨床スピリチュアル協会 [専門演習講師]
- 2014年10月28日「災害と宗教—東日本大震災を事例に—」リーディング  
大学院「実践的防災学3」 [講師]
- 2014年10月29日「臨床宗教師誕生の経緯と今後の展望」みやぎ県南中核  
病院緩和ケア部会主催研修会「終末期ケアにおける臨床宗教師の役  
割」 [招請講師]
- 2014年11月25日「東日本大震災と臨床宗教師」高野山大学密教文化研究  
所講演会 [招請講師]
- 2014年12月8日「イエ亡き時代の死者のゆくえ—柳田國男の思索の先に  
—」モルガン・スタンレーMUFJ証券勉強会 [講師]
- 2014年12月18日「社会に求められる僧侶とは」日蓮宗宗務院伝道部平成  
26年度次世代育成講習会「臨床仏教徒は～僧侶に必要なセカンドス  
キルか?」 [招請講師]
- 2015年2月15日「イエ亡き時代の死者のゆくえ」仙台仏教会会員研修[招  
請講師]

【木村敏明】

<委員>

・宮城県岩沼市史編纂委員

- ・宗教文化教育推進センター運営委員
- ・国際宗教研究所ニューズレター編集委員
- ・「心の相談室」理事

<公開講座等の講師>

- 2010年10月8日「日本人の自然観と宗教―「鯰絵」から見る」岩手県立釜石高校大学出前講座
- 2011年7月30日「震災体験の共有記録に向けて―東北大学震災体験記録プロジェクトの試み」みちのく図書館職員連合
- 2013年10月5日「宗教から見た私たちの社会と文化」第六期斎理蔵の講座
- 2013年10月28日「郷土の信仰―世界の中で見た日本宗教」豊齢学園
- 2013年11月2日「宗教間対話―インドネシアの事例に学ぶ」臨床宗教師研修
- 2013年11月23日「震災体験を語り、記録すること―東北大学震災体験記録プロジェクトの試み」復興大学
- 2013年11月28日 Religious Conditions in Japan before and after 3.11, 東南アジアムスリム若手知識人招聘プログラム
- 2014年6月24日「宗教間対話―インドネシアの事例に学ぶ」臨床宗教師研修
- 2014年7月19日「日本人は宗教嫌い?―インドネシアとの比較から」有備館講座
- 2014年7月31日「『聖☆おにいさん』にみる日本人と宗教」東北大学オープンキャンパス公開授業
- 2014年9月3日「『聖☆おにいさん』にみる日本人と宗教」高崎高校模擬講義
- 2014年10月3日「郷土の信仰―世界の中で見た日本宗教」豊齢学園
- 2014年10月18日 “Special lecture; Religions in Japan” ガジャマダ大学
- 2014年11月22日「心の復興と宗教」復興大学

【山田仁史】

<委員>

- ・海洋文化館展示アドバイザー
- ・味の素「食の文化フォーラム」委員

<公開講座等の講師>

2010年6月25日・8月10日「神話と童話の研究法」宮城野高等学校「総合的学習の時間」

2012年7月13日「神話と首狩の宗教民族学」東北大学リベラルアーツサロン

2013年10月30日「アジア・太平洋の中の日本神話」立正大学文学部（品川区共催）公開講座「響き合う神話世界：古事記、そして列島とアジア」立正大学大崎キャンパス

2015年3月27日「宗教民族学の立場から」座談会「宗教、言語、稲と鉄、南方文化の起源を探る」角川書店第一本社ビル

【滝澤克彦】

<委員>

- ・岩沼市史調査執筆員

【庄司一平】

<委員>

- ・岩沼市史調査執筆員

【大村哲夫】

<委員>

- ・事例研究なずなの会世話人（2006年～現在）
- ・宮城県臨床心理士会倫理委員長（2011年～現在）

**VI 教員による学会役員等の引き受け状況（2010～2014年度）**

【鈴木岩弓】

日本宗教学会 常務理事（2010年～現在）

日本宗教学会 情報化委員会委員（2010年～2011年）

印度学宗教学会 会長（2010年、2014年～現在）

印度学宗教学会 常任理事（2010年～現在）

東北民俗の会 会長（2010年～現在）

「宗教と社会」学会 編集委員（2010年～2011年）

日本民俗学会 第27期評議員（2010年～2011年）

日本民俗学会 第62回年会実行委員会委員長（2010年）

日本民俗学会 第29期理事（2012年～2014年）

日本民俗学会 第30期理事（2014年～現在）

第 10 回アジア太平洋パストラルケア・カウンセリング学会 第 6 回日本スピ  
リチュアルケア学会合同学術大会大会副会長 (JSSC) (2012 年)

【木村敏明】

日本宗教学会 評議員 (2010 年)  
日本宗教学会 理事 (2010 年～現在)  
日本宗教学会 庶務委員会委員(2011 年～現在)  
日本民俗学会 第 62 回年会実行委員 (2010 年)  
印度学宗教学会 常任理事 (2010 年～現在)  
「宗教と社会」学会 常任委員 (2010 年～2011 年)  
東北民俗の会 常任委員 (2012 年～現在)

【山田仁史】

印度学宗教学会 評議員(2009 年～現在)、常任理事 (2009 年～現在)  
東北民俗の会 常任委員 (2009 年～2011 年)  
日本民俗学会第 62 回年会実行委員 (2010 年)  
台湾原住民研究会『台湾原住民研究』編集委員 (2010 年～現在)

【滝澤克彦】

印度学宗教学会 事務局総務担当 (2009 年～2010 年)  
東北民俗の会 常任委員 (2009 年～現在)  
日本民俗学会第 62 回年会実行委員 (2010 年)

【庄司一平】

印度学宗教学会 事務局総務担当 (2011 年～2014 年)  
東北民俗の会 常任委員 (2012 年～現在)

【大村哲夫】

日本スピリチュアルケア学会学会誌発刊準備部会員 (2014 年～現在)  
東北大学大学院文学研究科実践宗教学寄附講座主催臨床宗教師研修スーパ  
ヴァイザー (2014 年度～現在)  
印度学宗教学会 事務局総務担当 (2015 年～現在)

## **VII 教員の教育活動**

### **(1) 学内授業担当 (2014 年度)**

#### **1 大学院授業担当**

鈴木岩弓

宗教学実習 I・II

課題研究

木村敏明

宗教学研究演習

宗教学実習 I・II

課題研究

山田仁史

宗教人類学特論

宗教学実習 I・II

課題研究

## 2 学部授業担当

鈴木岩弓

宗教学基礎演習

宗教学基礎実習

宗教学演習

宗教学実習

木村敏明

宗教学概論

宗教学基礎実習

宗教学基礎演習

宗教学基礎講読

宗教学演習

宗教学実習

人文社会序論

英文原書講読

山田仁史

宗教学基礎実習

宗教学基礎演習

宗教学実習

宗教学演習

宗教人類学各論

## 3 共通科目・全学科目授業担当

鈴木岩弓

宗教学

木村敏明

キリスト教史

山田仁史

宗教科教育法Ⅰ

宗教科教育法Ⅱ

宗教学

大村哲夫

宗教学

## (2) 他大学への出講 (2010～2014 年度)

鈴木岩弓

宮城学院女子大学 (2010～現在)

東北学院大学大学院人間情報学研究科非常勤講師 (2010～2013 年度)

中国：東南大学外国語学院客員教授 (2011 年度)

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部非常勤講師 (2012 年度)

筑波大学大学院人文社会科学研究科非常勤講師 (2012 年度)

放送大学客員教授 (2015 年度)

インドネシア大学大学院学部客員教授 (2015 年度)

中国：東南大学外国語学院客員教授 (2015 年度)

木村敏明

宮城学院女子大学 (2010～現在)

宮城大学 (2013 年度～現在)

東北学院大学 (2013 年度～現在)

大村哲夫

尚絅学院大学非常勤講師 (2010 年～現在)

高野山大学大学院非常勤講師 (2015 年～現在)